

一般社団法人日本リスク研究学会 2015 年度第 5 回理事会 議事録

日時： 2016 年 1 月 25 日（月） 13 時 30 分～18 時 00 分

場所： 国際文献社高田馬場会議室

出席理事：新山陽子（会長）、前田恭伸（副会長）、青柳みどり、臼田裕一郎、神田玲子、岸本充生、久保英也、恒見清孝、村山武彦（事務局長）

出席監事：片谷教孝

1. 理事会の成立

新山会長から、理事の過半数の出席を得て理事会が成立することが宣言された。

2. 前回議事録の確認

村山事務局長から紹介があり、内容を確認した。

3. 報告事項

(1) 会員の異動および会費納入状況

村山事務局長より、資料に基づき説明があった。

(2) 委員会等活動

1) 編集委員会

恒見理事より書面にに基づき論文審査状況について報告があった。また、青柳理事より、編集状況について報告があった。現在使用している国際文献社の査読システムについて、更新時期に応じて、JST によるシステムとの比較も視野に今後の方向を検討すること、今後、委員の委嘱を検討する際には若手の登用も視野に入れることが確認された。

2) 事業委員会

岸本理事より、書面にに基づき報告があった。文科省のリスクコミュニケーションモデル形成事業との関係で開催される予定の会合・ワークショップについては、タスクグループや理事会と情報を共有していくことが確認された。また、タスクグループの内規について、次回検討すること、学術会議が進めている防災学術連携体への関わりについて、臼田理事を中心として検討することとなった。

3) 情報管理委員会

前田副会長より、書面にに基づき報告があり、学会のウェブサイトで使用するサーバの更新について、臼田理事とともに検討していることが確認された。

4) 表彰委員会

久保理事より、今年度の表彰の事後処理について報告があった。

5) リスクマネージャ委員会

神田理事より、書面にに基づき報告があった。

6) 海外渉外委員会

前田副会長より、書面にに基づき報告があった。

7) 東日本大震災調査特別委員会

前田副会長より書面にに基づき、報告があった。

(3) 財務関係の執行状況

臼田理事より、書面にに基づき報告があった。

(4) その他

村山事務局長より、メール審議による後援の承認状況について報告があった。

4. 審議事項

(1) リスクマネージャの更新時の取り扱いに関する改正

神田理事より、書面にに基づき提案があり、更新時の経費、ポイント制の扱いなどについて議論した結果、以下の内容を確認した。

- ・ 更新時の経費は無料とする。
- ・ ポイント制について大きな変更は行わない。
- ・ 再登録を希望しないメンバーについては、意思を確認したうえで個人情報情報を消去する。
- ・ 5年程度の期間を見据えて、制度のあり方について検討すること。

(2) JRR 購読費の改定

村山事務局長より書面にに基づき提案があり、変動制へ移行することを強調した文面とすることを前提に承認された。

(3) 次期役員選挙の運営体制、スケジュール

村山事務局長より書面に報告があり、内容を確認した。

(4) 2016 年度定期総会・シンポジウムの開催時期、テーマの検討

岸本理事より提案があり議論した結果、新規リスクのガバナンス、リスク管理の再考、環境保全のための金融市場のアプローチ、防災分野の取り組みなどを中心に、今後検討を深めることになった。

(5) SRA International と本学会との関係

新山会長より書面にに基づき現況確認と対応について説明があり、今後の対応について検討した。その結果、今後の SRA からの提案とともに、日本リスク研究学会と SRA-Japan を分離した場合の対応についても備えることが確認された。

(6) 次期 SRA Asia への対応

次の SRA Asia 会議を日本で開催する方向で検討することが確認された。

(7) O. Renn 氏の来日への対応

8月29日の週に、東京、京都で1回ずつ講演会を企画する方向で Renn 氏と交渉することが確認された。

以上